

「特集」

たくさんさんの夢と希望を

クラゲドリーム館

2014
6/1 鶴岡市立加茂水族館
リニューアルオープン

「問合せ」 本所観光物産課 ☎ 25・2111 内線564



クラゲドリーム館が
いよいよ開館

「クラゲ水族館」として国内外から注目を集めている鶴岡市立加茂水族館。平成二十四年十月から改築工事を進めてきました。県内市町村で初の試みである住民参加型市場公募債「クラゲドリーム債」を発行し、調達した資金を改築費用の一部に充てるなど多くの方からご支援を頂き、六月一日①にいよいよリニューアルオープンします。

新水族館の愛称は公募によって「クラゲドリーム館」に決定。「庄内・鶴岡の歴史や文化に抱かれた恵み豊かな海を中心とする水生生物を通して、人と自然のかかわりあいを追求し、「世界に開かれた生命(いのち)のふるさと」となる水族館を創造する」ことを基本理念に、「生涯学習・調査研究の拠点と

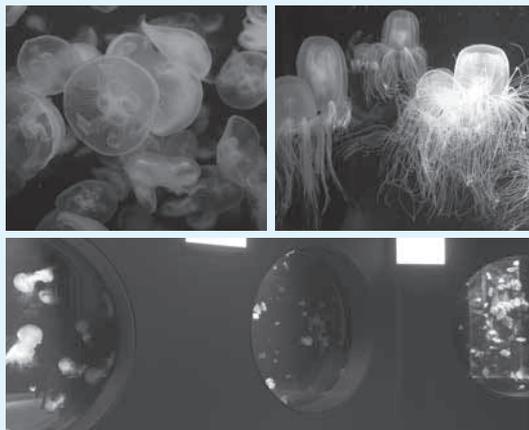
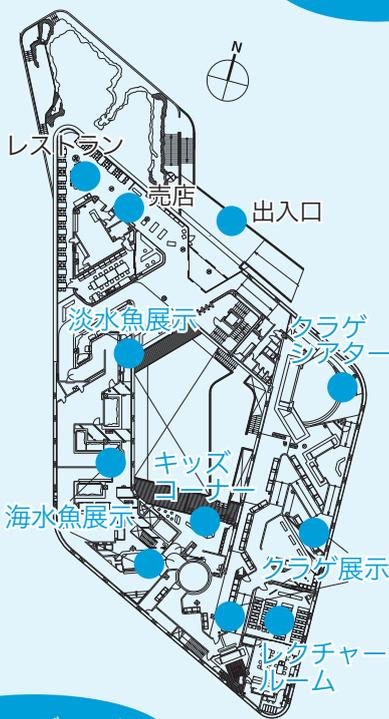
みどころ!

3つの世界一

- 1 直径5mのクラゲ大水槽の大きさが世界一
- 2 クラゲの展示種類数が世界一
- 3 クラゲの飼育数が世界一

淡水魚・海水魚ゾーン

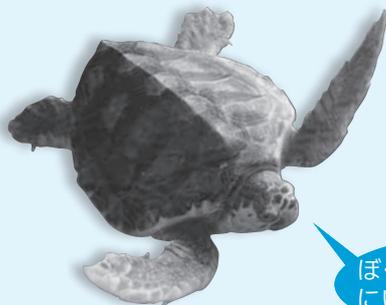
庄内の海・川にすむいろいろな水生生物を展示



クラゲゾーン

16年間培ったクラゲ展示の技術の粋がここに集結

ぼくはキッズコーナーにいるよ



魅力あふれる
クラゲドリーム館

して子供たちをはじめ人々の心を育てる水族館」、「交流の拠点として地域から世界に発信する水族館」を目指します。

新水族館は旧水族館の駐車場敷地に建設されました。建物の外観は「加茂の海に浮かび回遊するクラゲ」をイメージ。遠くからでも目立ち、そして、周辺の自然環境との調和に配慮したデザインとなっています。

旧水族館と比較すると、新水族館の広さは約二・二倍。展示ルートの長さも約一・六倍となり、これまで以上に水生生物の展示を楽しめます。そして、これまで培ってきた技術・経験を生かし、様々な工夫が凝らされている館内各エリア。特別な空間を体感できます。

■淡水魚・海水魚ゾーン

2階入り口から入り、魚の展示で始まる展示ルート。淡水魚展示では、イワナやヤマメなど赤川の魚を紹介します。また海水魚展示では、「タラ場の魚」をテーマに、庄内の海の魚をはじめイカ・イソギンチャクなどの無脊椎動物も紹介。それぞれ地元こだわった展示となっています。

■キッズコーナー

海の生き物に直接触れられるタッチングプールや、ウミガメの展示などがあり、子供を中心に楽しめます。

■クラゲゾーン

クラゲの展示種類数でギネス世界記

クラゲドリーム館
シンボルマークが決定しました

昨年10月1日～11月15日に新加茂水族館のシンボルマークを募集したところ、全国から170件の応募があり、選考の結果、富樫実氏（市内在住）の作品に決定しました。

採用されたこの作品は、加茂水族館が国内の動物園・水族館の最高の栄誉である「古賀賞」を受賞

するきっかけとなった「オキクラゲ」と、「クラゲドリーム館」の「ドリーム」（夢）を連想させる人魚を合体させた図案。新水族館の個性と、「世界一のクラゲ水族館」になることへの願いを表現したものです。



ショータイム
スケジュール

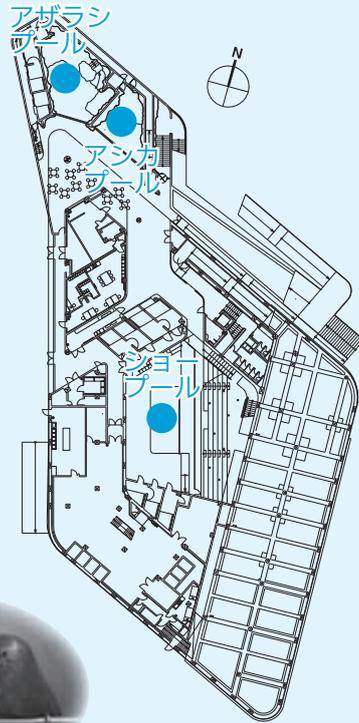
午 前

- 9:30 クラゲの給餌解説
- 10:00 アシカショー
- 10:15 あざらしタッチ
- 11:00 クラゲの給餌解説
- 11:30 アシカショー
- 11:45 あざらしタッチ
- 12:00 ウミネコの餌付け

午 後

- 13:30 アシカショー
- 13:45 あざらしタッチ
- 14:00 クラゲの給餌解説
- 14:30 ウミネコの餌付け
- 15:30 アシカショー
- 15:45 あざらしタッチ
- 16:30 クラゲの給餌解説

会いに来てね!

海 獣
ゾ ン

中庭にあるショープールでは、愛きょうのあるアシカが大活躍

[施設概要]

建築面積	2,596㎡
延べ床面積	4,003㎡
構 造	鉄筋コンクリート造 (一部鉄骨造)
高 さ	最高約15.5m
階 数	地上3階

■屋上
芝生が敷き詰められ、緑化した屋上からは、日本海や庄内砂丘、鳥海山、栗島などの眺望を楽しめます。

■海獣ゾーン
クラゲゾーンの終点からつながる屋外にあるこのエリア。吹き抜けの大空間が心地よいショープールでは、広々とした観覧スペースから迫力あるアシカショーを楽しめます。本来の生育環境である岩礁地をイメージして造られたアザラシ・アシカプールもあり、海獣の生態を観察することができます。

■クラゲゾーン
クラゲゾーンの終点からつながる屋外にあるこのエリア。吹き抜けの大空間が心地よいショープールでは、広々とした観覧スペースから迫力あるアシカショーを楽しめます。本来の生育環境である岩礁地をイメージして造られたアザラシ・アシカプールもあり、海獣の生態を観察することができます。

このエリアでは、スタッフによるクラゲの生態についての解説が行われるので、クラゲが実際に餌を食べる様子を見ながら楽しく学べます。また、旧水族館の「クラゲ研究所」で開催していた、クラゲの繁殖の様子を観察できる「クラゲ学習会」を「レクチャールーム」で引き続き開催。小学生以上の団体を対象に予約を受け付けています。

無数のミズクラゲが泳ぐ幻想的な姿をゆったり眺めることができます。このエリアでは、スタッフによるクラゲの生態についての解説が行われるので、クラゲが実際に餌を食べる様子を見ながら楽しく学べます。また、旧水族館の「クラゲ研究所」で開催していた、クラゲの繁殖の様子を観察できる「クラゲ学習会」を「レクチャールーム」で引き続き開催。小学生以上の団体を対象に予約を受け付けています。

秋田市大森山動物園×男鹿水族館×加茂水族館
連携して取り組んでいます

地元を元気を!

■秋田×山形 3園館連携

日本海に面した地域にあり、野生動物を飼育・展示している動物園と水族館が交流し、連携することで、地域のにぎわいづくり・活性化につながることを目的としています。

■スタンプラリー

3園館を巡り、設置されているスタンプを集めると、抽せんで各施設のグッズがもらえるスタンプラリーを実施する予定です。

開始時期など詳しくは、「3園館連携スペシャルサイト」<http://www.gao-aqua.jp/special/>でご確認ください。

■各施設について

○秋田市大森山動物園（秋田県秋田市浜田字潟端154）☎018-828-5508

○男鹿水族館（秋田県男鹿市戸賀塩浜）☎0185-32-2221



鶴岡の誇りになる水族館に
鶴岡市立加茂水族館
村上 龍男 館長

職員が目の回るような忙しさの中で過ごす。そのような日々が新水族館開館の直前まで続きました。やはり、水族館を一つ誕生させるということは、50年に一度の大仕事でした。

新水族館が今誕生するということは、旧水族館と48年も苦楽を共にした私にとっては、天の采配のような気がします。加茂水族館の歴史には、存続が危ぶまれるなど多くの変遷がありました。全ての出来事が「クラゲ水族館」につながっているようで、それらが早く起きて遅く起きてクラゲ水族館という成功はなかったように思います。

新水族館は他の水族館と比べても規模が大きい訳でも、他の水族館の良いところをまねた訳でもありません。「世界に唯一のクラゲ水族館」を誕生させたことに、新水族館の見所があります。大いなる挑戦をさせてくれた関係者や市民の皆さんには、大変感謝しております。皆さんが誇りに思えるような水族館を目指していきますので、引き続きご支援をよろしく願います。



新加茂水族館の開館を祝う
下村 脩 博士
(2008年ノーベル化学賞受賞)

2008年のノーベル賞の発表から10日くらいたった頃、ニュースでふに落ちないことを聞きました。光るはずのオワンクラゲが加茂水族館では光らないというのです。すぐ水族館に電話しましたら、運良く館長の村上さんにつながり、その実情を伺うことができました。それが始まりで、以後、村上館長と親しくさせてもらっております。

2010年4月には世界一のクラゲ水族館、加茂水族館を訪問し、名前に違わない立派な水族館を一日館長として見学させていただきました。一時はほとんどつぶれかかっていた水族館を村上館長のもと、全館員の努力で立派な水族館にされたというストーリーには特に感動いたしました。更に充実した新水族館の開館式には是非出席したかったのですが、私の米国査証の不具合で出席できません。査証がとれて次回帰国するときには、真っ先に新加茂水族館を訪問するつもりです。

新水族館の完成、おめでとうございます。

ご協力をお願いします

リニューアルオープン後は大変混み合うことが予想されます。お越しの際は、なるべく公共の交通機関や「鶴岡観光ぐるっとバス」をご利用ください。

なお、自家用車でお越しになる場合は、加茂水族館駐車場の混雑状況によって、第2駐車場(旧加茂中跡地)・特設駐車場(龍澤山善寶寺)へ誘導しますので、ご協力をお願いします(第2駐車場・特設駐車場からシャトルバスを運行します)。



恵み豊かな日本海に面する鶴岡市。その地域特性とより充実した研究設備を生かし、新水族館では、クラゲ学習会を開催するなど、自然環境や生命の尊さについて学ぶ機会を創出していきます。また、魅力ある展示を展開し、多くの人の交流の場となるよう、全国・世界に向けて「世界一のクラゲ水族館」を発信していきます。

いつ来ても新しい発見がある。そして、たくさんの夢と希望を与えることができる水族館を目指し、今後も取り組んでいきます。皆さんのお越しをお待ちしています。



たくさん
の夢と希望を

【 利用案内 】

- 所在地 市内今泉字大久保657 - 1
- 問合せ 加茂水族館 ☎33 - 3036
- 開館時間 午前9時～午後5時
(夏期は閉館時間の延長あり)
- 休館日 年中無休(施設メンテナンス等で臨時に休館する場合あり)
- 入館料 大人1,000円(800円)、小・中学生500円(400円)、未就学児無料
※()内は20人以上の団体料金。
- ホームページ <http://kamo-kurage.jp/>

